

Rikkyo Club of Executives & Professionals

立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：大塚裕司 編集人：松原伸禎 事務局：TEL.03-3985-3135 <https://www.r-keizaijin.net/>

総会開催報告

2022年6月27日（火）17:30より当クラブ定期総会が開催されました。コロナ禍で長らく完全な形での開催ができませんでしたが、2019年以来、今回は3年ぶりに第1部の定期総会、第2部の講演会、第3部の懇親会という3部構成で行われ、現地日比谷松本楼には71名の会員、3名のゲスト、28名の来賓にご参加いただきました。

第1部の定期総会は品川総務委員長の司会進行で始まり、総会に先立って物故者の報告と黙とうを行いました。冒頭、大塚会長より開会のご挨拶をいただきました。その後当会会則第11条に則り、大塚会長が議長につき、審議事項に入りました。1号議案 2022年度事業報告を井口事務局長より、2号議案 2022年度決算報告を飯泉財務委員長より説明いただき、岩田監査委員長より監査報告の後、質疑応答を経て審議の上、会場に出席された参加者により拍手で承認されました。

続きまして、3号議案 2023年度事業計画案を井口事務局長、4号議案 2023年度予算計画書を飯泉財務委員長より説明いただき、質疑応答を経て審議の上、審議の上承認されました。

引き続き18:00より、第2部の講演会では今年度開設されたスポーツウエルネス学部の沼澤先生より「立教大学とスポーツ」と題して講演をいただきました。（講演内容の詳細は次ページにてご紹介しております。）

19:00からは第3部の懇親会です。引き続き、品川総務委員長の司会で開宴となりました。まず大塚会長より、総会が無事に終了した報告と御礼と、ようやく各企業に活気が戻りつつあると感じる。厳しい環境ではあるがDXを活用して世の中が変わっていく過程にあり、従来通りの販売方法では通用せず、収益も上がらなくなってくる。悩みを抱えるお客様に対してどのような提案ができるか、という所が求められている。立教経済人クラブには多様な会社、職種の方が参加している。意見交換をすることで考え方のヒントが見つかり、人の輪が繋がってほしい、また、そういった環境を提供できる会でありたい、とご挨拶をいただきました。

続いて来賓の皆様からご挨拶をいただきました。はじめに立教学院理事長の福田裕昭様より、立教経済人クラブでは新人でして、今月入会をした。20-30



代の企業家の方がいたら、声をかけていきたいとご挨拶をいただき、学院の現況として、各学校で150周年の次に繋がる中長期ビジョンを検討し、共有していきたい、西原総長が推進する連携教育にも繋げていきたい、とご報告をいただきました。次に、立教大学総長の西原廉太様より、コロナが落ち着いた大学もほぼ通常運行となった、今年度より新座キャンパスにスポーツウエルネス学部が開設され、今や堂々たる池袋と新座の2つのメインキャンパスを持ったと言えるが、今後新座をどう活性化するか福田理事長と日々考えている、とご挨拶をいただきました。

その後、ご参加いただいた来賓の方々のご紹介があり、千葉拡大委員長より本年の賀詞交換会以降に入会された10名の新入会員の紹介と記念撮影を行った後、和田校友会長より乾杯のご発声をいただき、懇親会がスタートしました。

3年ぶりの立食スタイルでの開催ということで、会員はもとよりゲスト、来賓にも総勢100名を超えるご参加をいただき、賑やかに活発に意見を交わし合い、パソコンの画面越しではなく、久しぶりに対面できた喜びを噛み締めることができました。

最後に昆副会長より中締めのご挨拶をいただき、閉会となりました。3年ぶりに3部構成となる総会となりましたが、今後も皆様が親睦を深められる有意義な企画を運営してまいります。引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

—松原 伸禎 2000史—

総会 講演会

講師：立教大学スポーツウエルネス学部学部長 沼澤秀雄氏

第2部の講演会の部では、2023年4月に新設された、立教大学スポーツウエルネス学部の初代学部長である、沼澤秀雄教授に「立教大学とスポーツ」と題してご登壇いただきました。

テーマ 立教大学とスポーツ

戦前、戦後における立教大学のスポーツ

立教大学の中でスポーツ選手と言えば誰を思い浮かべますか？多くの方が「長嶋茂雄さん」と答えるのではないのでしょうか。長嶋さんは一昨年文化勲章を受章されました。「立教大学のスポーツ」を象徴する方であり、長嶋さんを継ぐ形で頑張っていかなければならないと思っています。

もう一人、元アルペンスキーの選手である猪谷千春さんをご紹介します。1956年コルチナ・ダンペッツォ冬季五輪で銀メダルを獲得し、日本人初の冬季五輪メダリストになられた方です。IOC委員を長年務められ、副会長に就任するなど、スポーツ振興の世界でもご活躍されています。

開学当初から立教大学でスポーツは盛んに行われていました。昨年、立教学院の展示館にて「世界に羽ばたくスポーツ文化－『立教』の挑戦－」と銘打ち、1924年のパリオリンピックに出場され、立教初のオリンピックとなった水泳の斎藤巍洋選手の写真や、1936年に山岳部が日本初のヒマラヤ遠征をした時の装備品などが展示されました。

戦後50年代に入って、ポール・ラッシュ先生がアメリカより伝えた伝統あるアメリカンフットボール部が51年に甲子園ボウルに初出場、初優勝。52年にはバスケットボール部が全日本学生バスケットボール選手権大会にて初優勝、53年には野球部が第2回全日本大学野球選手権大会で初優勝、54年にはサッカー部が全日本大学サッカー選手権大会で初優勝を飾っています。このような活躍があって、立教大学のスポーツは昔は強かった、と語り継がれています。

大学におけるスポーツ教育

1948年に新制大学が始まった際、大学教育で保健体育と体育実技は必修とされました。その後91年の大学設置基準の大綱化があり、立教大学では93年に全学共通カリキュラム運営センターが発足、保健体育科目については必修科目から選択科目に移行

されました。95年に一般教育部が発展的解消をし、スポーツの教員は98年に設置されたコミュニティ福祉学部に移籍となり、08年には学部内にスポーツウエルネス学科が設置され、スポーツウエルネス学部開設へと至ります。



スポーツウエルネス学部の紹介

ウエルネスとは、健康（Health）の枠組みを超えたより多面的な健康観です。心身の健康のほかに、人生の価値観や生きがいなども含まれます。本学部は、すべての人が豊かで充実した人生をおくることのできる社会の構築を探求します。

本学部が目指すのは、スポーツとウエルネスの視点からコミュニティ全体の健康維持・増進を考えることです。ここでいう「健康」とは、医学的に病気や障がいがないという意味ではなく、むしろ仮に障がいなどをもっていたとしても、そのなかで自由に豊かな生活を送れる状態、すなわち「ウエルネス」を意味します。

本学部で扱う「スポーツ」は、「自分がするスポーツ」だけではありません。スポーツが好きであれば、学ぶべきテーマは豊富にあります。アスリートのサポートの方法、スポーツマネジメント、スポーツビジネス、文章や映像によるスポーツの感動の伝え方、スポーツ観戦の方法など、可能性は無限に広がっています。

スポーツウエルネス学部は「すべての人の生きる喜びのために」という基本理念に立ち、スポーツウエルネス学の教育研究活動を通じて、人間の可能性の追求と誰もが快適で満ちたウエルネス社会の実現に寄与する人材を養成していきます。

—松原 伸禎 2000史—

第1回 勉強会

講師：金谷ホテル観光グループ代表取締役社長 金谷 譲児氏

2023年8月8日(火) 第1回勉強会がホテルニューオータニにて開催されました。

今回は、コロナ禍も明け久しぶりの朝食勉強会のスタイルで行われ、32名の参加者の下、金谷ホテル観光グループ代表取締役社長 金谷 譲児氏を講師にお迎えし、ご講演をいただきました。

テーマ 私たちは今、新たなフィールドへ

1. はじめに

金谷ホテル観光株式会社は、過剰債務問題やメインバンク足利銀行の破綻等、様々な問題が重なって会社の経営が行き詰まり2004年に産業再生機構に支援要請をしました。その後、2009年に事業再生が終了するまでの間、会社の再生に必死に取り組んできました。結果として、2009年には無事事業再生が終了し、また、その際には、資金を集め、ホールディングスを立ち上げ、金谷ホテル観光株式会社を買い戻すこともできました。



2. 見える化・目標の共有

(1) 数値の見える化～数値分析～

①目標数値の共有

事業再生中は、イールドマネージメント(3か月先まで予測)365日の予算を作成して数値を見える化し、日次、週次、月次にてP D C A (Plan/計画、Do/実行、Check/評価、Action/改善)を繰り返すようなことをしました。

また、ゲストアンケートについても数値化するなどして現状と目標を明確にし、従業員と共有しました。

②担当部門や責任者の決定

当たり前のことですが、各業務に関わる担当部門や責任者を決定し、責任の所在を明確にするようにしました。

(2) ビジョンの見える化～ブランドステートメント～

数値の共有だけでは、売上さえ上げればいい、利益さえ出せばいい、ゲストアンケートさえ良ければいいという考えになってしまうため、すべてのスタッフの向かうべき方向性も決めておく必要があります。

そこで、数字の共有のみならず、ビジョンも共有するため、次のようなクレド(コーポレートミッション)を作成しました。

- ・老舗は常に新しい
- ・誠心誠意
- ・すべては笑顔のために
- ・信義は利なり
- ・地域貢献

併せて、クレドだけではわかりにくいいためブランドステートメントも作成しました。

具体的には、社員全員でイメージを共有してお客様のペルソナを設定し、そこから連想される3つのキーワード「伝統(日光金谷ホテルの伝統を受け継ぐ)」「和洋(ホテルの機能性と旅館のおもてなしの融合)」「コンテンポラリー(現代の顧客ニーズにマッチしたモダン性)」を拾い上げ、自分たちが進むべき方向性を全社員で共有しました。

鬼怒川金谷ホテルは、日本最古のリゾートホテルをルーツに、東洋と西洋、伝統とモダンのサービスが心地よく癒合する和のラグジュアリーリゾートであるというところにたどり着き、これをブランドアイデンティティとして、これに当てはまるサービス、料理、しつらえを目指すこととしました。

また、このブランドアイデンティティを実施するために、各部署で禁止事項、推薦事項等も定めています。

3. チームビルディング

(1) 経営方針発表会、周年イベント等の開催

社員の一体感を形成するとともに、社員同士の交流を活発化させるため、1年に一回、全ての施設(旅館、ホテル、レストラン、ショップ)を閉めて、全職員が集まり、経営方針発表会及び周年イベントを実施しています。

経営方針発表では、社員全員で目標を共有し、各種表彰(金谷ホテルアワード、永年勤続表彰等)、各委員会より活動発表を行っています。

周年イベントは経営方針会の後に社員同士の交流やグループの一体感を醸成するために実施しています。3か月前より各部署より推薦されたプロジェクトチームが結成され、部署別対抗のゲームをしたり、全スタッフの笑顔と会社からのメッセージを入れた映像を映すなどして、社員同士の交流を図っています。

4. 最後に

本日お話しした私の経歴や私の会社のチームビルディングのあり方等が、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

鬼怒川に来られる際は、是非、金谷ホテルに遊びに来てください。

—菅原 清暁 2000心—

ウェルカムナイト

2023年6月16日19:00より、日比谷松本楼セントポールズ会館にて、本年度第1回ウェルカムナイトが開催されました。

ウェルカムナイトは、新入会員になった方々を中心に、新入会員同士や既存会員との交流を深める親睦を目的とした会です。今回は26名のご参加をいただきました。(うち新入会員は14名)また、今回は天候にも恵まれ、懇親会の前に18:00より希望者による立教大学池袋キャンパスのキャンパスツアーも実施し、12名の参加をいただきました。

熊谷征男先輩(1969経)の乾杯のご発声と共に会はスタート。しばらくご歓談の後、司会を務めた千葉拡大委員長より、立教経済人クラブの活動内容や、事業計画を中心に説明があり、久しぶりに池袋キャンパスに集い、新入会員の皆様一人ずつに自己紹介をしていただきました。ご自身のビジネスについて、立教との関わり方について、経済人クラブ入会のきっかけ等お話をいただきました。

歓談の時間は立食形式で行われ、日比谷松本楼の名物カレーを含む美味しいコース料理をいただきながら、終始和やかな雰囲気で行進していききました。交流も盛り上がり終了が惜しまれる中でしたが、呉東富先輩(1966営)より締め言葉の言葉をいただき、参加者全員での集合写真を撮影し、閉会となりました。

ウェルカムナイトはアットホームな雰囲気で開催されることもあり、会員同士が近い距離で立教での縁を深める絶好の機会です。次回も是非ご参加をお待ちしております。
—千葉 喜章 1989経—



拡大委員長インタビュー

—長かったコロナも終息を見て、リアルで人とふれあう機会が増えてきました。今後当クラブが発展拡大していくべく取り組みを行っている、千葉喜章委員長(1989年卒(株)立教企画 代表取締役社長)にお話を聞いてきました。

●拡大委員会のお仕事を教えてください。

拡大委員会は、入会希望者のための面談や、新入会員を歓迎するウェルカムナイト、グルメ会の企画など、文字通り会員数を増やし、会を拡大していく役割を担っています。

●現在のクラブの会員数を教えてください。

直近で発行された名簿によると、会員数は約500名です。昨年度は15名増加(入会30名に対し、退会された方が15名)、今年度はこれまで9名増加しています。(入会24名に対し退会15名)。

●入会者に対し、退会者も一定数いるんですね。

高齢や仕事上の理由で退会される方もいらっしゃいます。一定数の退会者が出てしまうのは避けられないので、それ以上の入会者をお迎えすることで初めて会員数が増えるということになります。

●拡大のために意識していることは？

現在の会員の年齢層を調べてみると、実は約50%が60代以上の会員です。将来を見据えると、今後の経済人クラブを担う40代、50代の会員拡大が必要です。彼らにとって魅力的なコンテンツを揃えることも大事です。また、特定の会員だけでなく、会員全員が経済人クラブの拡大を意識し、新入会員をお迎えできる雰囲気を醸成させるよう、取り組んで

いかなければなりません。そのためにまずは会員自身が経済人クラブの活動を楽しいてもらえないと、紹介には繋がらないでしょう。手段としてセントポールズ会館内の松本楼で実施するウェルカムナイトは、久しぶりに母校に戻ってきた会員を対象にキャンパスツアーを事前に実施したり、グルメ会では飲食を共にし、会員同士が気楽に語り合い、親睦を深める場を提供するなどしています。

●今後、拡大委員会が目指すものは？

毎年20名増、5年で100名増を目指しています。そのためには会員一人一人が活動に満足し、「入った方がよいよ」とご紹介してもらえるようなクラブにしていかなければなりません。立教経済人クラブの活動はまだ外部に知られておらず、敷居が高いと感じる方が多いのも事実です。興味はあるけど、どうやって入会してよいかわからない方もいらっしゃるかもしれません。まずはお仲間を経済人クラブの事を話す、というお声がけをしていただきたいです。一緒に立教経済人クラブを盛り上げていきましょう。
—松原 伸禎 2000史—



第81回 ゴルフ会

2023年7月22日(土)、第81回立教経済人クラブゴルフ会が東京ゴルフ倶楽部にて開催されました。ちょうど梅雨明けと重なり、猛暑日にならないか心配でしたが、午前中は適度に雲が広がり、この時期にしては最高のゴルフ日和でした。午後は日差しが強くなりましたが風が出てくれて、私のボールのある木陰は涼しい程でした。

コースはとにかくバンカーが効いています。グリーン周りのガードバンカーは花道がないほどで、しかも砲台グリーンは身長程のアゴが張り出しています。クロスバンカーはフェアウェイの真ん中近くにまで迫り出すバンカーがあったり、1つ目のバンカーを越えても、実はもう1つ連続であったり…。

また夏のラフは深くネバっこくロストボールになってしまうことも。運良く見つかったもようやく出すだけのショットなったりでした。ようやくグリーンにたどり着くと緑色の絨毯のような素晴らしいコンディションです。フェアウェイもきめ細かく凄く良い状態ですが、グリーンはもっと凄いです。

そしてアンジュレーションも凄いです。乗った!と思ったら手前にこぼれてしまったり、2段グリーンで元の位置に戻ってしまったりと難しいですが、キチンと精度良く打ればちゃんとカップインするのです(!)

さて、たっぷりかいた汗を流した後は涼しい会場で

パーティーです。最初に和田最高顧問よりご挨拶をいただきまして、いよいよ成績発表です。このような凄く戦略性の高い、しかもフェアウェイとグリーンコンディションが最高のこのコース攻略に成功し、優勝をゲットしたのは…アウト42、イン43の85、ハンディ14.4、ネット70.6でまわりました植田剛将さんでした。流石、体育会ゴルフ部です!準優勝はアウト37、イン39の76、ハンディ4.8、ネット71.2でまわりました岩本公宏さんでした。流石、老舗うなぎ料理店当主です。立教経済人クラブでもグルメ会を開催させていただきました。とっても美味しいお店です!それにしてもこの難コースで76とは(!)

優勝の植田さん、準優勝の岩本さんに一言ずついただき、今回初参加の瀧康次郎さんにもご挨拶いただきました。最後に恒例の記念撮影にて解散となりました。当ゴルフ会は上手な方もいらっしゃいますが、初心者の方も大勢いらっしゃいます。マナーを守りながら、和気あいあいとゴルフを楽しくと思っております。次回は12月の開催となります。皆様のご参加をお待ちしております。



—長倉 一裕 1984法—

ワイン講習会・スタンディング交流会

2023年9月4日(月)神楽坂のワインブティック『Pure Wine Boutique AROMEVERRE』にて、ワイン講習会およびスタンディング交流会を開催しました。ワイン講習会では、銀座の名店『マキシム・ド・パリ』等でサービスを担当された経験を有する、名ギャルソンの誉れ高い岡部一己氏に、今回はブルゴーニュワインをテーマにお話いただきました。スパークリングから白ワイン2種・赤ワイン2種まで、お料理と共にワインの知識を深めることができました。ワインをきっかけとしながら、会員同士のコミュニケーションも深まり、非常に明るく楽しい講習会となりました。

スタンディング交流会では、同店のワインセラーより参加者同士で好きなワインを選定しボトルシェアをしながら交流を深めました。ワイン選定時からコミュニケーションを深めることができ、カジュア

ルな雰囲気の中公私とも幅広い話をする事ができ、経済人クラブならではの様々な垣根を超えた交流を図ることができました。

ワインをきっかけに、食・旅・仕事など様々な話題へと話がはずみ、両会とも笑いが絶えない会となりました。今回は、同日同場所にて2パターンのイベントを開催しました。初めての企画であり、案内等わかりづらい面もあったかと思えます。反省点は今後にかし、より皆さまの満足度が高いイベントやサービス等を計画・提案してまいりたく存じます。イベントへの皆様の参加やリクエスト等お待ちしておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



—小田切 理紗 2009法—

第1回 理事会

2023年5月23日(火)に第1回理事会が開催されました。コロナ禍も一段落したことから、今回は、呉先輩の新橋亭でのリアル開催となりました。大塚会長をはじめ、理事、顧問、各委員長の方々22名のご参加をいただきました。理事会では、6月に行われる総会の審議事項(前年度事業報告、決算、今年

度事業内容、予算)について報告を行い、了承をいただきました。

審議後には、久しぶりの新橋亭のお料理と、紹興酒を皆様で堪能し、近況報告では、日常が戻る中今後リアルでのイベントを企画していくことへの期待も多く寄せられました。

—品川 高穂 1996経—

建学の精神をたづねて

～日本文化として世界に発信しているアニメと絵画について～

神保町シンクタンク 黒田裕治 (1978年3月 法学部卒)

プロフィール／1955年7月4日 広島県尾道市生まれ。立教高等学校 立教大学を経て、近畿日本ツーリスト株式会社勤務。2012年、独立して安曇野シンクタンク創立に加わり、現 神保町シンクタンクを主宰。トラスポヘルスケア販売株式会社創立

今回は、漫画(アニメ)と絵画(絵本作家・デザイン)でご活躍の立教のアルムナイをたづねてみました。

西岸良平(さいがんにょうへい)は、日本の漫画家。東京都世田谷区出身。代表作は『三丁目の夕日(夕焼けの詩)』、『鎌倉ものがたり』など。昭和の戦後復興の活気あふれる日本経済の黎明期を表現した映画『ALWAYS三丁目の夕日』の原作者です。

「三丁目の夕日」は、昭和33年(1958年)の東京の下町を舞台とし、夕日町三丁目に暮らす人々の温かな交流を描くドラマ。建設中の東京タワーや上野駅、蒸気機関車C62、東京都電など当時の東京の街並みをミニチュアとVFX(CG)で再現。昭和30年代の街並みが再現された。三輪自動車ミゼット、家電、店内の商品などほとんどが各地から集められた本物であり、多くの映画賞を受賞し、高い評価を得ている。2006年3月3日、日本アカデミー賞の最優秀賞発表では、この13部門の内12部門で最優秀賞を獲得している。西岸良平氏は昭和22年生まれで、立教大学経済学部2年生の時に漫画研究会を設立。設立当時のメンバーには細野晴臣(前回ミュージシャンとして紹介)も名を連ねていた。昭和47年「夢野平四郎の青春」で第8回ビッグコミック賞の佳作第1席に入選。昭和57年、「三丁目の夕日」により第27回小学館漫画賞を受賞。平成21年、「鎌倉ものがたり」により第38回日本漫画家協会賞大賞受賞。平成22年の春の褒賞で紫綬褒章を受章。「三丁目の夕日」は、平成20年1月20日号で連載800回を記録、平成24年6月20日号で連載900回を記録した。令和4年(2022年)9月で画業50周年を迎えた。

一度読んだら忘れられない、個性的な作風で拙も好きな漫画家の1人です。他の有名な作家からの評価も以下の通り。白土三平(絵は抜群で、まったく文句のつけようがない。人生の黄昏も、そこはかたなく表現されている。)さいとう・たかを(個性的な絵はいい。)

水木しげる(ひとりひとりの人生を背負った顔、表情の豊かさには、感心しました。)横山光輝(絵もストーリーも、おもしろく、味もあるが、もっと迫力のあるペーソスが、出せないものだろうか。)手塚治虫(絵だけ見ていると、プロの第一線でも通用しそうだ。読者は、この種の絵に飢えているのではないのでしょうか。)藤子不二雄(いやみなくユーモラスに“たそがれ”を描く力量は高く評価したい。)石森章太郎(似たような絵の多い中で、このクセのある個性をかう。)～昭和47年のビッグコミック賞の

審査員評抜粋～。SF的な主人公や幽霊も積極的に登場してとても面白い。

立教漫画研究会でのエピソードでは「第一回 東京六大学秋季マンガ・リーグ戦」に

収録。参加は、早稲田大学、慶応大学、法政大学、東京大学、立教大学、明治大学の六大学漫画研究会、漫画クラブです。全体で8ページ、全員が一コマ漫画で、公害・戦争等を扱っています。立教大学からは西岸良平、飯塚コウ咲の2名が参加し、課題は「色あせた恋」となっており、他大学とは一線を画した内容となっています。西岸良平は三年生。飯塚も史学三年となっています。『別冊少女フレンド』への掲載につながっていくような内容です。」～昭和43年10月20日発行『週間アサヒ芸能』に収録～

葉祥明(ようしょうめい)は、日本の絵本作家、画家、詩人。本名、葉山祥明 熊本県熊本市出身。九州学院高等学校、立教大学経済学部、セツ・モードセミナー卒業後、ニューヨークのアート・スチューデント・リーグに留学、油絵を学ぶ。1973年初めての絵本「ぼくのべんちにしろいとり」でデビュー。70年後半から起こったメルヘンブームの第一人者として人気を博す。1990年絵本「風とひょう」でポロニャ国際児童図書展グラフィック賞受賞。1991年、鎌倉市に〈北鎌倉 葉祥明美術館〉を開館。2002年、故郷熊本に〈葉祥明阿蘇高原絵本美術館〉を開館。絵本「地雷ではなく花をください」「イルカの星」など書籍多数。2019年「倉木麻衣20周年シングルコレクション」ジャケットアートを描き下ろした。多くの絵本の作者として知られ、2014年の時点で、絵本・詩集など書籍の出版数は300点に上る。葉祥明の作品は別の意味で西岸良平と同じく一度見たら忘れられない(笑)個性的な作風で心に響くものがあります。

これら2人の作品を通して感じるのは、派手さはないけどグッと心に届く魂のメッセージがあるからではないでしょうか?まるで「道を伝えて己を伝えず」のウィリアムズ主教のように。

参照

各作家のWikipedia 立教大学 HP 内漫画研究会紹介ページ



インタビュー

立教経済人をたづねて

新企画。各業界で第一線を走り続ける立教経済人を会報委員会がインタビューに伺います。インタビュー協力者様は自薦・他薦問わず随時募集中です。ご協力をいただける方は事務局までご連絡ください。

質問項目 ①入会したきっかけ ②事業の内容 ③立教経済人クラブの中でお役に立てる業界・業種 ④忙しい中で熱中していることや、気晴らし、趣味など ⑤今後の当クラブについて期待すること

五味淵紀子氏 1990史 株式会社 YPP 代表取締役

①北岡修一顧問よりご紹介いただき、昨年12月に入会しました。折しも昨年立教学院の監事を仰せつかり、経済人クラブでも勉強させていただきたいと思っています。

②株式会社 YPP は、事務の代行サービス業の会社です。YPP は Your Partner & Planner の略で、2005年に創業しました。当時私自身が乳幼児を抱えながらの仕事で苦勞をしましたが、事務という仕事は誰がやっても同じ結果が求められる業務であり、業務のワークシェアができると考え、子育てや、介護等何らかの事情がある方でも働きやすい場を作ろうという思いに至りました。現在はテレワークのスタイルも浸透し、全国に700名近くの登録者がいます。

③バックオフィスは会社の要です。事務が後手になりかけている会社のサポートを行っています。総務経理部門は実は少人数で孤軍奮闘していることが多く、人材育成まで注力できていないな、という方がいらっしゃったらお役に立てるかもしれません。

④学生時代は大学公認バンドサークル「OVER ALL MUSIC」に所属しており、最近久しぶりに電子ピアノを購入し、知り合いの集まりなどで演奏を披露したりしています。保護猫を飼い始めたことも癒やしの時間になっています。



⑤実は入会前、経済人クラブという名前に構えてしまっていました。でも実際参加してみると、暖かく迎えていただけるのが本当に嬉しかったです。経営者の実態に迫ったリアルな話を身近に聞ける機会も貴重で、幅広く勉強できる場にもなっています。若手新入会員の方も是非勇気を持って積極的にイベントに参加してもらいたいです。

—松原 伸禎 2000史—

徳澄範光氏 1987数 ブレーン・アシスト株式会社 代表取締役

①取引先からの誘いで、最初は立教 IT 会に参加し、そのご縁で2010年頃入会しました。入会后すぐ運営委員会メンバーになり、会報委員として10年以上活動してきました。

②当社ブレーン・アシスト株式会社は、中小企業を IT 技術でサポートし日本の底上げの一助に寄与したい、という思いから1999年4月16日に私一人で設立しました。

サービスとしては、インフラ構築からウェブマーケティングに至るまで、分かり難い IT 関連のサービスを、ワンストップかつ分かり易く提供しています。

③現在は中小企業を中心としながら、比較的規模の大きい企業の案件も受注しています。「お客様の視点」「安心感」「スピード」をしっかりと押さえたうえで、新しい価値と体験を生み出せるように日々努めています。

自社のネットワーク構築を再検討したい、WEB制作をしたい、現在の保守運用業者の対応に不満があるので相談したい等、誰に相談したらいいの?という事案があれば、お役に立てると思います。

④ゴルフは好きなのでよくやっています。また大好きなタイで、拙いタイ語を駆使しながら、現地を歩き、人々とコミュニケーションをとるなどして楽しんでいます。

⑤立教経済人クラブは運営委員会のメンバーに支えられて、会員の皆様が相互啓発、親睦を図ることに寄与してきたと思います。

今後も、会員同士が活発に交流し、先輩方のみならず、若手新入会員の方々にとっても、ビジネスの発展に寄与するような、すべての会員に意義のある場であり続けてほしいと願っています。

—菅原 清暁 2000心—



新しく会員になられた方々

(敬称略)

赤城 規史 1991 産業関係

鹿島建設(株) 営業本部営業部長
〒107-8388 港区元赤坂 1-3-1
TEL: 090-8852-3960
E-Mail: akagin@kajima.com
建設業

井深 謙 1986 経営

北島水産(株) 代表取締役社長
〒500-8281 岐阜市東鶯 1-119
TEL: 058-274-8862
E-Mail: info@kitajima-suisan.co.jp
水産物輸入加工卸

大木 康正 1987 経済

(株)千葉マツダ 代表取締役社長
〒263-0005 千葉市稲毛区長沼町 333-3
TEL: 043-259-3900
FAX: 043-259-3969
E-Mail: oki.y@chiba-mazda.co.jp
自動車販売整備業

小峰 陵太 2015 国際ビジ法

東京テアトル(株)
リノベーションマンション事業部・マネージャー
不動産業

小宮 一浩 1986 経済

(株)ビジネスブレイン太田昭和 代表取締役社長
〒105-0003 港区西新橋 1-1-1
日比谷フォートタワー
TEL: 03-3507-1300
FAX: 03-3507-1301
E-Mail: kkomiya@bbs.co.jp
コンサルティング、情報通信

佐藤 大輔 1991 観光

アジア・ダイナミック・コミュニケーションズ(株)
代表取締役
〒106-0031 港区西麻布 1-8-12
E-Mail: sato@adc-japan.com
心理検査海外販売および企業コンサル

佐藤 元己 2022 院人工知能

社)白鯨会 理事長
健診施設運営、産業医業務

須藤 恭崇 1998 法

(株)大協精工 営業部 部長代理
〒130-0012 墨田区太平 4-1-3
オリナスタワー 4 階
TEL: 03-5611-6230
E-Mail: yasutaka_sudo@daikyoseiko.jp
医薬医療用直接包装材の製造と販売

瀧 康次郎 2006 経済

タキトミビルディング(株) 常務取締役
〒103-0011 中央区日本橋大伝馬町 10-8
TEL: 03-3662-3411
FAX: 03-3664-2737
E-Mail: kojiro_taki@takitomi.tokyo
不動産賃貸業

棚橋 桂介 1996 立教新座高

フロンティア法律事務所 弁護士
〒102-0093 千代田区平河町 2-7-4 砂防会館
別館 A4 階
TEL: 03-6912-3811
FAX: 03-6912-3812
E-Mail: tanahashi@frontier-law.com
弁護士

田宮 綾子 2001 文 (日本)

(株)田宮代理店 代表取締役
〒130-0005 墨田区東駒形 1-18-11
TEL: 03-3624-0777
FAX: 03-3621-5880
金融

問田 和宏 1989 産業関係

野村不動産パートナーズ(株) 代表取締役社長
〒163-0562 新宿区西新宿 1-26-2
TEL: 03-3345-0685
FAX: 03-3344-3900
E-Mail: k-toida@nomura-re.co.jp
不動産管理業

長沼 浩 2017 院ビ

長沼商事(株) 代表取締役社長
〒359-1167 所沢市林 1-306-7
TEL: 04-2947-8870
FAX: 04-2947-8881
E-Mail: hiroshi@recycle-eco.com
金属リサイクル業

早川 厚 2000 経済

ネットワークシステムズ(株) 経営企画部・部長
ネットワークインテグレーター

水野 葉子 1980 文 (ドイツ)

(有)リーファース 代表取締役社長
〒103-0026 中央区日本橋兜町 1-7-401
TEL: 03-6231-0839
FAX: 03-6231-0841
E-Mail: ymizuno@leafearth.jp
食品認証

山名 広朗 2005 経済

SB C&S (株)
ネットワーク&セキュリティ推進本部・本部長
〒105-7529 港区海岸 1-7-1
東京ポートシティ竹芝オフィス
TEL: 080-3241-7836
E-Mail: hiroaki.yamana@g.softbank.co.jp
IT ディストリビューター

編集後記

灼熱の夏も終わり、10月には過ごしやすい毎日となることを祈っている会報委員会で
す。まず委員会からのお知らせです。今回から当クラブの会員の方に事業のことや入会
のキッカケなどのインタビューを開始しています。さらにお役に立つ記事を掲載したいと考えておりますので、
ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。さて食欲の秋と言いますが、最近イチジクを食べた記憶がありますで
しょうか?イチジクは旬の味覚であり、食物繊維の一種(ペクチン)を豊富に含んでいるのが特徴です。効能と
して、便秘や動脈硬化、血糖値の上昇を予防してくれます。仕事は健康が第一。旬の食べ物で栄養を付けて、来
る冬に備えていきましょう。40代3人が行う会報委員会も健康に留意しています。立教の街池袋の居酒屋でイ
ンタビューについて打ち合わせを行いながらも、おつまみの最初はサラダです。唐揚げよりも、お刺身にするな
ど酒肴も年々変わっています。いつまでも当クラブが楽しめるように。立教に乾杯! 一村上 直人 1994立高一